

子どもの育ちを支える 福岡市のチャレンジ

福岡市長 高島 宗一郎

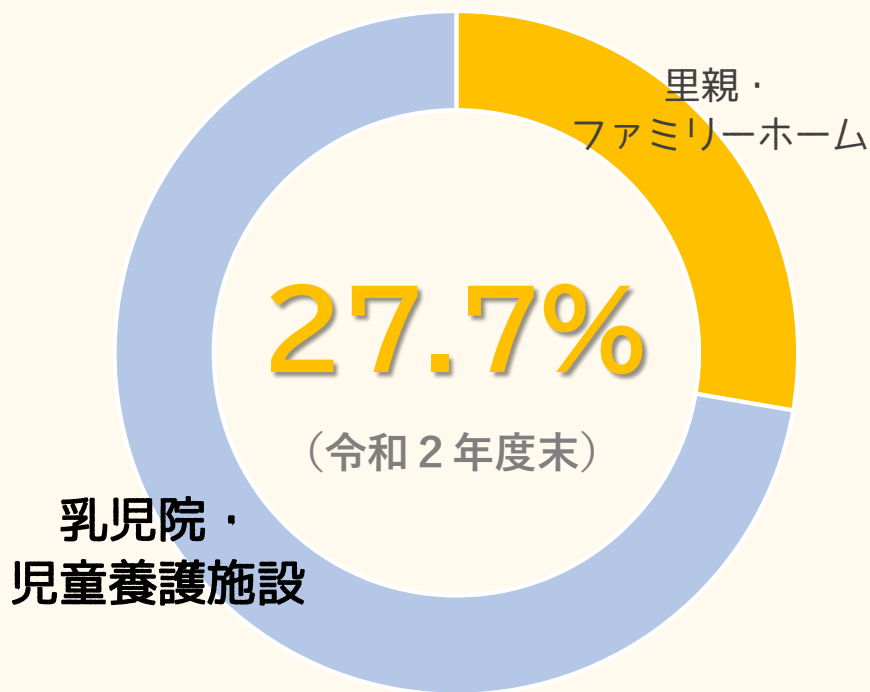


どんな境遇でも
安心できる環境を

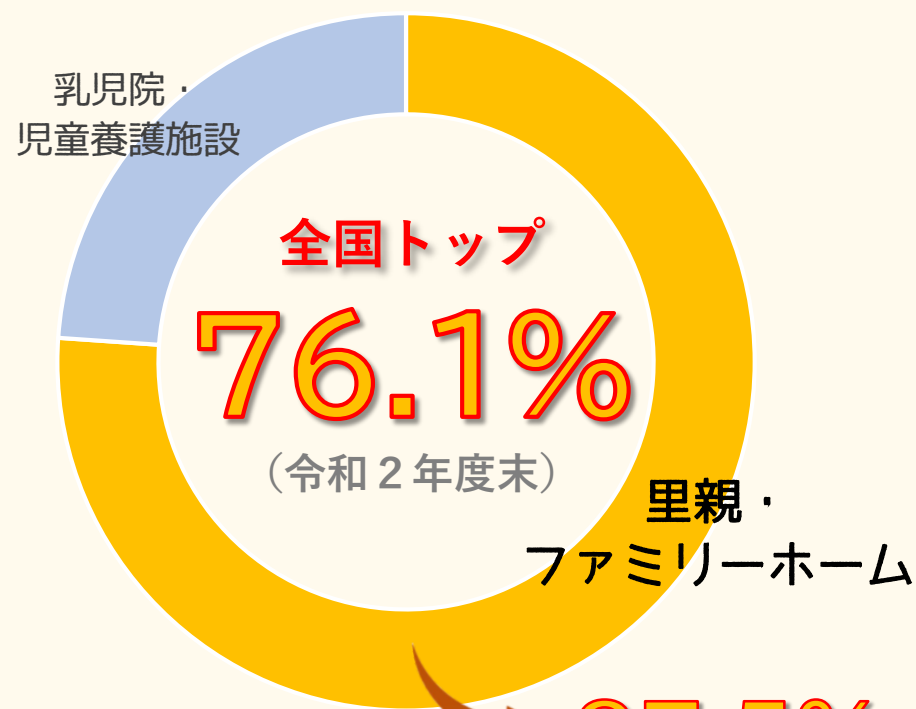
愛着形成
のために

里親家庭を確保

全国合計



福岡市



(乳幼児の里親委託率)

87.5%
(令和3年度末)

ポイント！

里親家庭を支える体制

市民
が
里親になる

三位一体
の協働での取組

行政
が
サポート



民間団体
が
サポート

子どもを守るために
親を守る

妊娠初期から相談・サポート

産前・産後母子支援センター「こももティエ」開設

※令和2年度～

予期せぬ妊娠

行政窓口には
相談しづらい

生活の不安

デリケートな
相談への対応



365日24時間

SNS相談

産前から産後の育児までフルサポート

たとえば

住まいの提供を受けながら



心理的な
サポート

産科同行
手続支援

子どもの
あやし方
育て方

就労支援
住宅確保



安心して生み育てられる環境づくり

それ
以外にも

多様な訪問サービスを充実

産後ケア

育児相談

家事
ヘルパー

宅食



いろんな形で **親を守っていく** ことが
子どもを守る ことになる

さらに

新しい親子支援 がスタート



協定締結



事業の開発・運用



事業費の助成



民間団体

親子支援事業を実施

専門性を
活かして

「乳児院」「児童養護施設」を 親子関係を支える拠点へ転換



通所プログラム



親子の
関わり合い
ふれあいを
促す

家庭訪問で
サポート



親子入所で
サポート



市民の力を
さらに活かす

「里親」が

親子を身近で支える実家のような存在へ



ショートステイ

子どもを一時的に預かることで
保護者の休息をサポート

今年度から

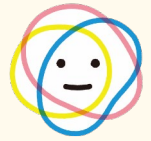
親子宿泊

親子が実家に泊まる感覚で
産後の育児などを支援

子どもの困難をキャッチして
支援を届ける

子どもたちの 声を聴く

子ども自身の意見表明をサポート
(子どもアドボカシー)



子ども
アドボカシー
センター福岡
Child Advocacy Center FUKUOKA

まずは

里親 や 施設 の子どもたち

そして



多くの子どもたち へ広げていく

オンラインで子どもの発信をサポート

子ども自身が相談できる



今年度から

ヤングケアラー
虐待
いじめ

できるだけ早い段階で

兆しをキャッチして支援を届ける